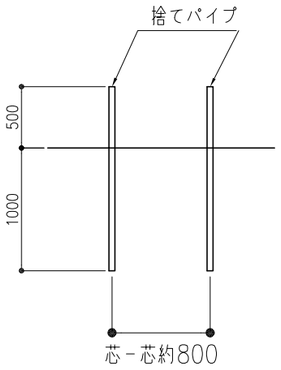
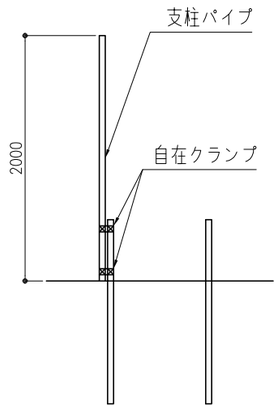
仮囲い（Ｈ＝２ｍ）設置手順

①



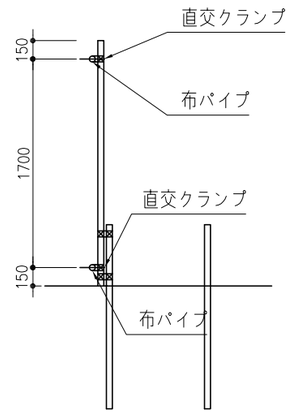
・捨てパイプ１.５ｍを控え方向に約800の間隔で打ち込む。
・パイプ根入長は１.０ｍで施工する。(状況により根入長は変わる)

②



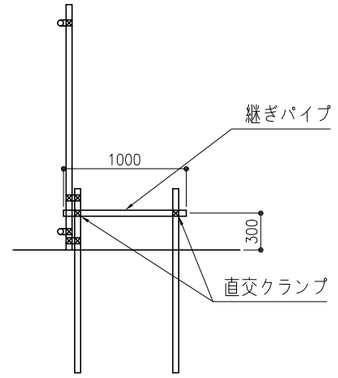
・支柱パイプを捨てパイプに自在クランプで止め建てる。
・支柱パイプの高さを水準器等で計測し揃える。
※注　捨てパイプと支柱パイプの位置関係は別図（右下の図）に示す。

③



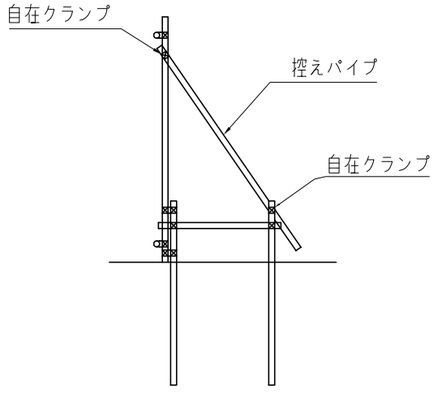
・布パイプを取付ける位置を支柱パイプに墨を出し、直交クランプを取付け布パイプを流す。
※この際、下段の布パイプは地上より200mm程度で仮固定しておき、仮囲いの設置後に落とし込むようにする。
・クランプを取付ける際に、水準器等で高さを揃える。

④



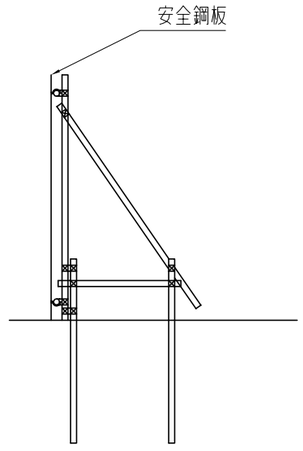
・捨てパイプ同士を継ぎパイプ１.０ｍで、直交クランプを使い取付ける。（状況により支柱パイプと捨てパイプ　を継ぎパイプで繋ぐこともある）
・地上より３０ｃｍを目安として取付ける
・パイプは水平に取付け、通りもあわせる。

⑤



・支柱パイプに自在クランプを取付け、控えパイプ２.０ｍを使用して捨てパイプと継ぎ。
・控えパイプの位置を一緒にして通りを揃える。

⑥



・フックボルト等を取付けた仮囲板を布パイプに引っ掛けて取付ける。
・布パイプを固定している直交クランプにフックがあたらないように板を調整しながら取付ける。
・最後に下段の布パイプを落とし込み仮囲いを固定する。

※別図：捨てパイプと支柱パイプの位置関係
（上方からの視点）

